

## 事業者が行うごみ減量やリサイクルの取り組みについて



生活協同組合コープとうきょうコープ亀有店

事業者活動部会部会員の小売店の中から、ごみ減量・リサイクルの取り組みについて取材を行いました。

<取材店>

生活協同組合コープとうきょう  
コープ亀有店  
(葛飾区亀有2-15-4)



店頭に貼られているマイバッグ持参を促すステッカー

### ◎レジ袋削減の取り組み

#### 〔レジ袋削減の経緯〕

生活協同組合コープとうきょうでは、ごみの削減が社会的に重要な課題となる中で、環境活動の一環としてごみ減量を目指し1991年8月に6店舗で実験を行った上、1992年2月から全店舗でレジ袋の無料配布を行わないようにした。

開始当時は会員向けの情報誌や店内放送、掲示やレジでの声かけなどを行った。理解を求める宣伝を行った結果、当初心配された苦情の殺到や客数の大幅な減少はなかった。



#### 〔レジ袋削減の取り組み内容〕

コープとうきょう亀有店ではレジ袋に関して、次のような取り組みを実施している。

- レジの後方にある台で、レジ袋を必要とする人はお金を自分で箱（右上写真）に投入する形式となっており、1枚5円でレジ袋を買うことができる。
- 会員加入時にマイバッグ（お買物袋）を配布するサービスを行なっている。
- 売り場でマイバッグの販売の他に、マイバスケットの販売をしており、そのカゴでお買い物をしたものはそのまま店外に持っていくことができる。
- 段ボールなどを自由に使えるようにしており、自転車や車で来る方が利用する。
- 店内では、マイバッグ持参を促す掲示や「ごみ減量のためマイバッグを使いましょう」という内容の放送を行っている。



レジ袋販売BOX（上）

レジにあるレジ袋有料の掲示（下）



店内で販売しているマイバッグ  
やマイバスケット

### 〔レジ袋削減の取り組みによる現状〕

1992年当時は約64%だったレジ袋削減率（想定削減枚数÷客数）が、意識の高まりもあり、2009年には約82%（亀有店は約78%）にまでなった。

他店舗においては、レジ袋を必要な方はレジでお金を払って買うという方式をとっているところもあり、その場合はレジ袋削減率が更に上がる傾向にある。

なお、組合員の店という特殊な要件もあるが、マイバッグの利用を始めたことによる万引きの増加などは、ほとんど確認されていないとのこと。

## ◎容器包装削減の取り組み

### 〔裸売り・ばら売りの取り組み〕

- ・商品のカット見本を売り場に置き、商品の中の状況がわかるようにしている。
- ・良い商品の見分け方などの掲示をしている。

### 〔お客様の声を聞く体制〕

お客様の声や、店内で見たりした事項などは「見たこと、聞いたことカード」で集め、その内容を店長会などで取り上げるなどして改善をそれぞれの部門に要望していく体制を整えている。



商品のカット見本を置いている

## ◎その他のごみ減量・リサイクルの取り組み

次のようなごみ減量・リサイクルの取り組みを行っている。

- ◆お客さんの不必要なレシートを回収する箱を置き、そのレシートをリサイクルルートに乗せ再生している。
- ◆リサイクル品目として卵パックを回収している。
- ◆POS データを活用し、予測を立てて商品を発注し、生協で定めた取り扱い期間内に売り切れるよう、商品を管理している。ただし、夕方以降も主力商品は品切れしないように気をつけている。
- ◆店舗で使用済みの天ぷら油を貯め、バイオディーゼル燃料として再使用している。
- ◆ペットボトルや牛乳パックなど、売り場にその容器が資源の回収対象であるとの表示を付けている。
- ◆生ごみなどは分別を細かく分け回収し、飼料にするなど100%のリサイクルを行っている。
- ◆コープとうきょうも加盟しているコープネット事業連合の会員生協では、トレイを使用せずビニール袋で包装したで肉を販売するという取り組みを行った。



卵パック回収の表示（上）  
店舗で回収している商品は販売してある場所にも表示されている（下）